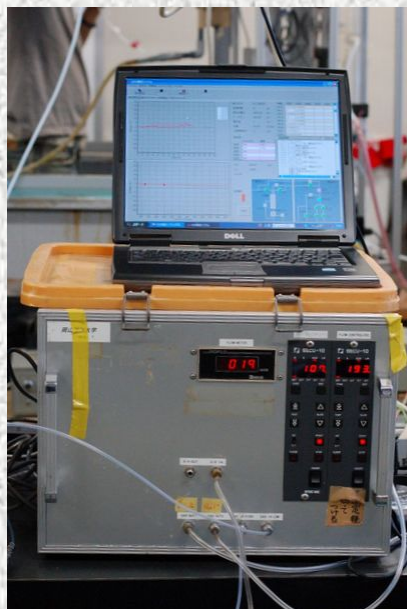


# CO<sub>2</sub>ガス自動測定システム

CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)は温室効果ガスとしてよく知られており、また植物が大気中のCO<sub>2</sub>を吸収することで、地球温暖化の解決に期待されています。

しかし、大気中のCO<sub>2</sub>の吸収は植物だけでなく、海洋も考えられていますが、具体的にCO<sub>2</sub>の吸収において植物と海洋の比は明らかになっておらず、地球規模の炭素循環を理解する為には、まず海洋におけるCO<sub>2</sub>濃度を把握する必要があります。

そこでこのシステムは、大気・海水中のCO<sub>2</sub>濃度を自動で測定できるように開発した装置です。



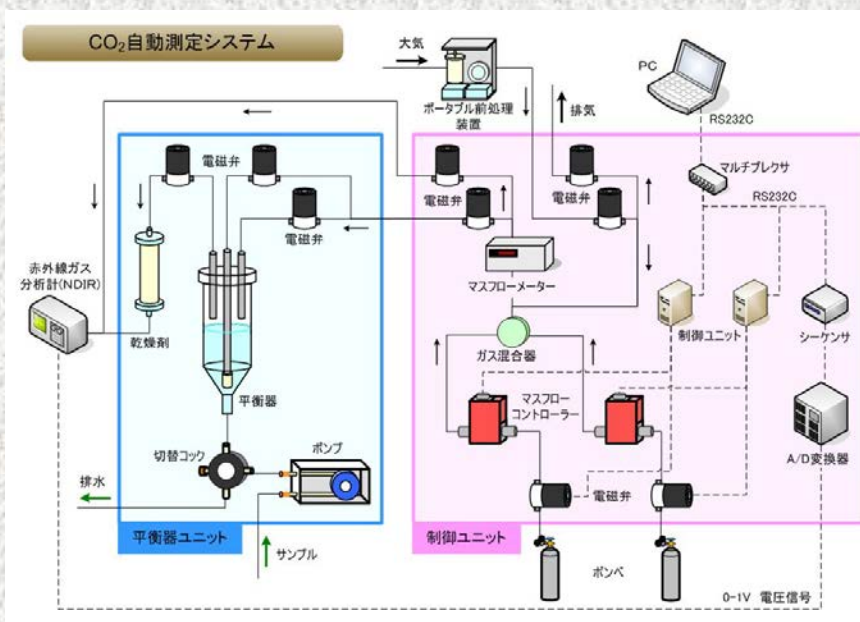
## 特徴

- ◆従来の平衡法を用いた装置に比べ測定に必要な海水が少量で済みます。
- ◆2台のマスフローコントローラーを用いて、ガスを導入します。
- ◆バブリング前後のCO<sub>2</sub>ガス濃度の差から海水中のCO<sub>2</sub>濃度を算出します。

## CO<sub>2</sub>キャリアーガス

濃度の違う2種類のボンベ・マスフローコントローラー・ガス混合器・マスフローメータを用いて、CO<sub>2</sub>キャリアーガスを平衡器に導入します。

すでに濃度が分かっているCO<sub>2</sub>キャリアーガスを数種類使用することで、正確な海水中濃度を測定できます。



## 画面

### ◆海水測定画面

測定データ・グラフ・装置情報・詳細情報が表示されます。

### ◆海水ファイル画面

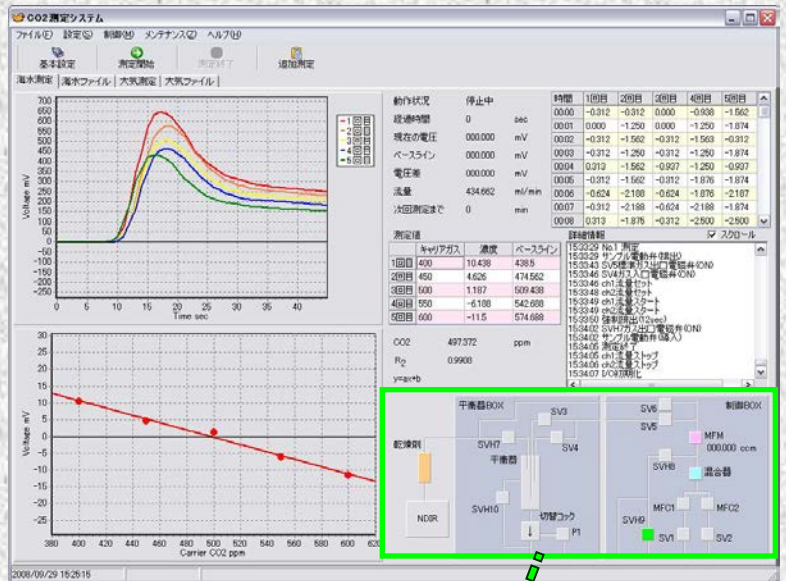
過去の測定データが表示され、グラフ表示や再計算値を挿入することができます。

### ◆大気測定画面

海水を使用せずに自動測定を行った場合は大気中のCO<sub>2</sub>濃度を測定し、この画面に結果が表示されます。

### ◆分析装置画面

自動測定中は常にこの画面へデータが表示され、詳細な分析装置データとして記録されます。



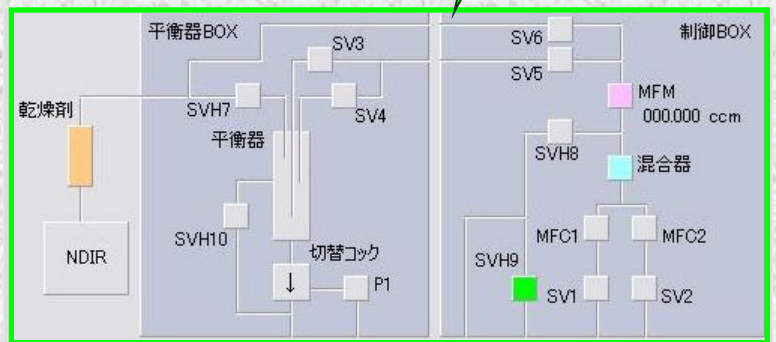
海水測定画面

## 装置の状態表示

海水測定画面の右下には、現在の装置の動作を表示しています。それぞれの装置の動作状況が一目で分かるようになっています。

## データ保存

受信した分析データは、CSV形式での保存となります。CSVの形式で保存したファイルはExcelで開き、編集することが可能です。



装置状態画面

## プログラム動作環境

- ◆OS Microsoft Windows95, 98, Me, 2000, XP
- ◆PC Intel Pentium 以上のDOS/V コンピューター
- ◆マウス Microsoft Windows95, 98, Me, 2000, XP対応のマウス必須
- ◆プリンタ Microsoft Windows95, 98, Me, 2000, XP対応のプリンタ
- ◆メモリ 64MB 以上
- ◆ハードディスク 1GB 以上
- ◆通信ポート RS-232C ポート必須

Microsoft, Windowsは米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

※このカタログの内容は、改良のため予告なしに変更する場合があります。

製造元 株式会社 エスワン  
 岡山県倉敷市神田1-2-12  
 TEL: (086)448-5105 / FAX: (086)448-5148  
 URL <http://www.s-one-net.co.jp>